

4年生指導計画 一つの花

次	時	ねらい	学習活動	評価規準	指導、援助
第1次学習の見通しを持つ	1	全文の範読を聞き、初発の感想を持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの花という題名から感じたことを話し合う。 ・「一つの花」の範読を聞く。 ・時代背景について話し合う。 ・初発の感想を書き、交流する。 ・ 	関：一つの花という題がつけられたわけを文章から考えようとしている。(観察・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・題名のつけかたを(白いぼうし)といらべる。 ・漢字、難語句などすぐ調べられるようにする。
	2	時、場の設定、登場人物をつかむことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・時、場の設定、人物、語句などをたしかめながら読む。 ・三つの場面を確認する。 ・心に残った言葉や文にサイドラインを引き感じたことを書き込む。 	関：詳しく読みたいところや疑問に思うことなどを見つけている。(書き込み、発言)	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を掲示し、場面を捉える手がかりとする。 ・一行空きのところに着目させる。
	3	場面毎に叙述から感じた事を交流し、学習の計画を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・場面毎にサイドラインの場所と感じたことを交流する。 ・場面毎の読みの課題と学習活動について計画を立てる。 	関：進んで自分の感想を発表したり、読みの課題を考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに書かせ、黒板にはりながら発表させる。 ・第2場面は、さらに3つの場面に分割する。
第2次場面の様子を想像し	4	第1場面のゆみ子「一つだけ」をきく母親のを音読や叙述からつかみ、人物の気持ちを想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1場面を音読する。 ・言葉や文から場面の様子を考える。 ・会話文の前後の言葉に着目して、人物の気持ちを想像する。 ・読みとったことが表れるように音読する。 	読：会話や動作を表す言葉などをもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読んでいる。(発言・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の時代独特の語句については、調べたり、知っていることを発表したりする。 ・食糧難の時代であったことなど、ちいちゃんのかげおくりでまなんだことを想起する。
	5	第2場面前半でのゆみ子の「ひとつだけ・・・」に対する両親の心情を叙述から想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2場面の(1)を音読する。 ・言葉や文から場面の様子を考える。 ・会話文の前後の言葉に着目して、人物の気持ちを想像する。 ・読みとったことが表れるように音読する。 	読：会話や動作を表す言葉などをもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読んでいる。(発言・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・～どころか、～だの、など ・さし絵の表情なども参考にする。

なが ら 読 む	6	第2場面前半、駅での見送り場面での両親の心情を想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2場面の(2)を音読する。 ・言葉や文から場面の様子を考える。 ・駅での見送りの様子から両親の思いを考える。 ・読みとったことが表れるように音読する。 	読：両親の駅での様子からゆみ子を残して戦争へ行くのがつらい思いをつかんでいる。(発言・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の読みとりを想起させる。 ・
	7 本時	第2場面後半一つの花を見つめながら何も言わず行ってしまおうお父さんの心情を叙述から想像する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2場面後半を音読する。 ・言葉や文から場面の様子を考える。 ・コスモスについての記述から、父親の願いを想像する。 ・読みとったことが表れるように音読する。 	読：動作を表す言葉などをもとに、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読んでいく。(発言・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで初めて一つの花がでてくることに着目する。 ・「白いぼうし」の夏みかんの役割を想起させる
	8	第3場面、戦争が終わってからの暮らしぶりを読みとり、母親の心情を想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・第3場面を音読する。 ・これまでのゆみ子たちの暮らしと比べる ・コスモスについての叙述を比べ、そこから感じたことを交流する。 	読：コスモスにこめられた意味について自分なりの考えを持っている。(ノート)	<ul style="list-style-type: none"> ・コスモスについての叙述を比べる。 ・成長したゆみ子は、どんな子になったか、父や母の心配していたこととくらべる。
第3 次 音 読 で 伝 え 合 う	9	これまでの学習をふりかえり感想をまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・自分が読みたい場面から特に心に残る部分を書き出し、選んだ理由を交流する。 	関：自分の読みたい場面を進んで見つけようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの読みとりの経過をふりかえる。
	10	互いに音読を交流しながら、読み方を工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ場所を音読練習する。 ・互いに聞き合い、どう読んだらよいか考える。 ・群読も入れながら読み味わう。 	読：読み方を聞いて、言葉を根拠にどう読んだらよいか気づいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきた足跡を掲示しておく。 ・声の大きさ、調子、速さ、間など観点を示す。
	11	音読発表会を行い、感想を交流することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の足跡を3年生に説明する。 ・音読を3年生と互いに発表しあい、感想や意見を交流する。 	関：学んできた成果を進んで発表しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の足跡を掲示する。 ・身に付けた読みとりの手がかりなどもふれながら説明する。
	11	学習をふり振り返り、感想文をまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・初めの読みとりと比べどう読み深めてきたかふり返る。 ・読後の感想を文章にまとめ交流する。 	書：読み深めてきたことをつないで文章にまとめている。	